

昭和32年度一般会計決算

歳入の部

款 項	目	予 算 額	調 定 額	収入済額	収入未済額	附 記
1 繰越金		26,584	26,584	26,584	0	
	(1) 繰越金	26,584	26,584	26,584	0	
2 負担金		246,200	246,200	202,910	43,290	長岡 13,200
	(1) 負担金	246,200	246,200	202,910	43,290	新潟 15,490
3 雑収入		26,516	126,595	126,595	0	北浦 14,600
	(1) 過年度収入	14,800	14,800	14,800	0	合計 43,290
	(2) 雑収入	200	100,279	100,279	0	
	(3) 募金換付金	11,516	11,516	11,516	0	
計		299,300	399,379	356,089	43,290	

歳出の部

款 項	目	予 算 額	流 用 増 △減額	予 算 現 額	支出済額	不 用 額	記 附
1 事務費		72,000	0	72,000	71,105	895	
(1) 賃銀		5,000	△ 4,960	40	0	40	
	① 賃 銀	5,000	△ 4,960	40	0	40	
(2) 旅費		20,000	9,992	29,992	29,992	0	
	① 旅 費	20,000	9,992	29,992	29,992	0	
(3) 事務費		47,000	△ 5,032	41,968	41,113	855	
	① 備品費	15,000	△ 6,111	8,889	8,889	0	
	② 消耗品費	15,000	△ 1,300	13,700	13,409	291	
	③ 通信費	12,000	2,379	14,379	14,379	0	
	④ 印刷費	3,000	0	3,000	2,700	300	
	⑤ 雑費	2,000	0	2,000	1,736	264	
2 事業費		185,000	10,254	195,254	192,850	2,404	
(1) 大会費		15,000	0	15,000	14,358	642	
	① 大 会 費	15,000	0	15,000	14,358	642	
(2) 会議費		30,000	0	30,000	28,860	1,140	
	① 評議員会費	10,000	△ 2,700	7,300	6,160	1,140	
	② 役員会費	20,000	2,700	22,700	22,700	0	
(3) 研究費		30,000	18,120	48,120	47,498	622	
	① 調査研究費	10,000	0	10,000	9,378	622	
	② 研究会費	20,000	18,120	38,120	38,120	0	
(4) 連絡費		55,000	3,130	60,130	60,130	0	
	① 全国大会費	25,000	△ 1,110	23,890	23,890	0	
	② 中央会議費	25,000	11,240	36,240	36,240	0	
	③ その他連絡費	5,000	△ 5,000	0	0	0	
(5) 振興費		55,000	△ 12,996	42,004	42,004	0	
	① 県内振興	30,000	12,004	42,004	42,004	0	
	② 資 料	20,000	△ 20,000	0	0	0	
	③ その他振興	5,000	△ 5,000	0	0	0	
3 負担金		37,000	△ 4,954	32,046	28,000	4,046	
(1) 負担金		37,000	△ 4,954	32,046	28,000	4,046	
	① 負 担 金	37,000	△ 4,954	32,046	28,000	4,046	
4 予備費		5,300	△ 5,300	0	0	0	
(1) 予備費		5,300	△ 5,300	0	0	0	
	① 予 備 費	5,300	△ 5,300	0	0	0	
計		299,300	0	299,300	291,955	7,345	

歳入総額 (356,089) - 歳出総額 (291,955) = 64,134 次年度へ繰越

昭和32年度特別会計決算

歳入の部

款 項 目	予 算 額	調 査 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	附 記
繰 越 金	619	619	619	0	
月 報 販 売 料	215,000	216,075	106,770	109,305	315 (銀行利子)
資 料 購 読 料	45,000	58,630	58,630	0	100,000 (県補助)
雑 収 入	6,000	102,683	102,683	0	2,368 (月刊公民館手数料)
過 年 慶 収 入	82,000	82,555	82,555	0	
合 計	338,619	460,562	351,257	109,305	計 102,683

歳出の部

款 項 目	予 算 額	予 算 流 用	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
月 報 印 刷 費	200,000	1,680	201,680	201,680	0
資 料 費	40,000	19,728	59,728	59,728	0
謝 礼 費	20,000	4,000	24,000	24,000	0
取 材 費	30,000	423	30,423	30,423	0
通 信 運 搬 費	30,000	△ 6,000	24,000	23,950	50
雑 費	10,000	△ 2,083	7,917	7,385	532
予 備 費	18,619	△ 17,728	891	0	891
計	348,619	0	348,619	347,146	1,473

差引歳入総額 (351,257) - 歳出総額 (347,146) = 4,111.....次年度へ繰越

住宅の本

県立図書館へ参考係一問 住宅に関する図書をお知らせ下さい。

答 最近住宅を造る人がふえて来ましたが、多少とも余裕のある人は無理をしても自分の家を持ちたいと思ふのが自然なものでしょう。楽しい住いを造るための手頃な参考書と比較的新しい出版の中から拾い上げて見ました。

○威知謙隆 新しい住宅 理工図書 二八〇円
○主婦の友社 耐震不燃の新築集 主婦の友社 三八〇円
○水井玉吉 平家正住 みよの家 理工図書 二二〇円

○威知謙隆 耐震不燃の新築集 主婦の友社 三八〇円
○水井玉吉 平家正住 みよの家 理工図書 二二〇円

○威知謙隆 耐震不燃の新築集 主婦の友社 三八〇円
○水井玉吉 平家正住 みよの家 理工図書 二二〇円

○威知謙隆 耐震不燃の新築集 主婦の友社 三八〇円
○水井玉吉 平家正住 みよの家 理工図書 二二〇円

○威知謙隆 耐震不燃の新築集 主婦の友社 三八〇円
○水井玉吉 平家正住 みよの家 理工図書 二二〇円

○威知謙隆 耐震不燃の新築集 主婦の友社 三八〇円
○水井玉吉 平家正住 みよの家 理工図書 二二〇円

○威知謙隆 耐震不燃の新築集 主婦の友社 三八〇円
○水井玉吉 平家正住 みよの家 理工図書 二二〇円

○威知謙隆 耐震不燃の新築集 主婦の友社 三八〇円
○水井玉吉 平家正住 みよの家 理工図書 二二〇円



住宅

蔵方昭治 住宅を建築する人

のために 蔵/倉庫 二二〇円

○小林政一等 家の設計図集 理工学社 二六〇円

○佐久間四之助 普通日本家屋 橋造 橋書店 一八〇円

○清水一 住みよい家の建て方 大泉書店 二八〇円

○主婦の友社 木造と耐火の近代的な住宅 主婦の友社 三二〇円

○住宅建築研究会 住みよいの暮 興雄社 三八〇円

○住宅金融普及協会 ブロック造住宅設計図集 新建築社 二四〇円

○住宅建築研究会 新しい小住宅 雄雄社 二五〇円

○威知謙隆 最低値で出来る健康な住いの設計集 理工図書 三三〇円

○谷口吉郎 みんなの住い 河出書房 二二〇円

○水井玉吉 家の建て方・間取の工夫 理工学社 五〇〇円

○西山則三 これからのすまい 相模書房 二八〇円

○日本住宅協会 住みよいの改造と補修 雄雄社 一八〇円

○日本電建出版部 建物写真集 日本電建出版部 一三〇円

○平井克己等 住みよい住宅建築の百科 金蘭社 二〇〇円

○婦人回覧社 住みよい家の設計 計一五〇種 婦人回覧社 二五〇円

○婦人回覧社 すまいの設計 婦人回覧社 二五〇円

○蔵田周忠 小住宅の設計 主婦の友社 二八〇円

○蔵田周忠 小住宅の設計 主婦の友社 二八〇円

○蔵田周忠 小住宅の設計 主婦の友社 二八〇円

○蔵田周忠 小住宅の設計 主婦の友社 二八〇円

○蔵田周忠 小住宅の設計 主婦の友社 二八〇円

○蔵田周忠 小住宅の設計 主婦の友社 二八〇円

○蔵田周忠 小住宅の設計 主婦の友社 二八〇円

○蔵田周忠 小住宅の設計 主婦の友社 二八〇円

○蔵田周忠 小住宅の設計 主婦の友社 二八〇円

○蔵田周忠 小住宅の設計 主婦の友社 二八〇円

○蔵田周忠 小住宅の設計 主婦の友社 二八〇円

○蔵田周忠 小住宅の設計 主婦の友社 二八〇円

昭和33年度予算

歳入の部

款 項	目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	附 記
1 分 担 金		482,000	461,200	800	
1 分 担 金		482,000	461,200	800	
	1 一般分担金	242,000	246,200	△ 200	
	2 特別分担金	218,000	218,000	1,000	
2 県 補 助 金		500,000	0	500,000	
1 県 補 助 金		500,000	0	500,000	
	1 県 補 助 金	500,000	0	500,000	
3 繰 越 金		88,000	27,200	40,797	
1 繰 越 金		88,000	27,200	40,797	
	1 繰 越 金	* 68,000	27,200	40,797	* 一般会計 64,134 特別会計 4,111
4 雑 収 入		168,000	159,516	8,484	
1 雑 収 入		168,000	159,516	8,484	
	1 過 年 慶 収 入	* 152,000	96,800	55,200	* 一般会計 43,290 特別会計 109,305
	2 資 料 販 売 料	1,000	45,000	△ 44,000	
	3 募 金 換 付 金	13,000	11,516	1,484	
	4 雑 収 入	2,000	6,200	△ 4,200	
歳 出 合 計		1,198,000	647,919	550,081	

昭和三十三年度事業計画概要

一、本会の運営

評議員会 年三回開会 理事会 年六回(定例優待開会)
監事会 年二回開会 幹事会 年四回(概ね四半期ごと)開会

二、連絡協議

全国公民館連絡協議会
評議員会化出席 会公理組織の強化 公民館強化に關する法律改正運動推進
関東甲信越静公民館連絡協議会 協議会代表者出席 六月新潟県協議会開会予定
新潟県社会教育関係団体協議会 本会から理事五名選出
行政機関団体との懇談会
次の機関所体と懇談し社会教育の振興に資する県知事、県教育委員、社会教育関係
協議会、県社会教育委員会、市長会、市議会議長会、町村会、町村議会議長会

三、公民館大会

全国公民館大会 六月三日―十五日まで 鳥取県米子市で開催。
金岡都市公民館研究大会 十月十五日、十六日 福岡県八幡市で開催。
新潟県公民館大会 九月十九日、二十日 妙高高原町で開催。

四、講習会

公民館職員講習会
基礎的教養を主としたもの。上、中、下越三会場に開催
公民館活動の実務を主としたもの。一会場に開催
県教育委員会と共催

五、研究会

公民館活動振興研究会 幹事会において本会運営のための役員会としてのものを兼ね、
公民館活動の振興につき研究
公民館専任職員会議
専任職員のある方、専任職員増加方策等につき研究協議

地域別社会教育研究会 上、中、下越公連・教育庁各出張所と共催 各都市公連と共催
青年学級婦人学級研究会 県教育委員会と共催

六、資料発行、紹介、斡旋

新潟県公民館月報 毎月発行 随時特号も発行 編集委員会、年三回開会
公民館資料発行 次ものを逐次発行
新潟県公民館第一覧、同職員名簿、公民館要覧、公民館の手引、分館運営の手引
講座の聞き方、公民館活動の実例集
月刊公民館 全国公民館連絡協議会発行
優良図書紹介、斡旋 公民館月報に紹介、斡旋

七、協力事業

運動 新生活運動、公明選挙運動、協同募金運動、町を明るくする運動、住みよ
い郷土建設運動、町善奨励運動、ユネスコ運動、国土緑化運動
週 婦人週間、読書週間、社会福祉週間、入権擁護週間
大 新潟県教育問題研究大会、新潟県青少年活動実績発表大会
コンクール 広報紙コンクール

昭和33年度予算

歳出の部

款	項	目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	附 記
1	事務費		230,000	112,000	118,000	
1	手 当		80,000	5,000	55,000	
		1 手 当	80,000	5,000	55,000	事務嘱託手当
2	旅 費		40,000	20,000	20,000	
		1 旅 費	40,000	20,000	20,000	事務局旅費
3	需 要 費		130,000	87,000	43,000	
		1 備 品 費	25,000	15,000	10,000	
		2 消 耗 品 費	45,000	15,000	30,000	事務用品
		3 通 信 運 搬 費	50,000	30,000	8,000	
		4 雑 費	10,000	12,000	△ 2,000	
		× 印 刷 費	0	3,000	△ 3,000	
2	事 業 費		881,000	475,000	386,000	
1	大 会 費		30,000	15,000	15,000	
		1 大 会 費	30,000	15,000	15,000	県大会
2	会 議 費		75,000	50,000	25,000	
		1 評 議 員 会 費	15,000	10,000	5,000	
		2 役 員 会 費	30,000	20,000	10,000	
		3 幹 事 会 費	30,000	20,000	10,000	
3	研 修 費		180,000	10,000	170,000	
		1 講 習 会 費	50,000	0	50,000	
		2 研 究 費	130,000	10,000	120,000	懇談会研究会その他
4	月 報 発 行 費		380,000	250,000	110,000	
		1 報 償 費	20,000	20,000	0	執筆報償
		2 取 材 費	100,000	30,000	70,000	
		3 印 刷 費	226,000	200,000	26,000	月報その他
		4 編 集 委 員 会 費	14,000		14,000	
5	連 絡 費		80,000	55,000	25,000	
		1 全 国 大 会 費	30,000	25,000	5,000	
		2 中 央 議 費	40,000	25,000	15,000	
		3 そ の 他 連 絡 費	10,000	5,000	5,000	
6	振 興 費		138,000	95,000	41,000	
		1 県 内 振 興 費	50,000	30,000	20,000	地域別研究会
		2 資 料 費	76,000	60,000	16,000	公民館の手引その他
		3 そ の 他 振 興 費	10,000	5,000	5,000	
3	負 担 金		30,000	37,000	△ 7,000	
1	負 担 金		30,000	37,000	△ 7,000	
		1 負 担 金	30,000	37,000	△ 7,000	
4	予 備 費		77,000	23,919	53,081	
1	予 備 費		77,000	23,919	43,081	
		1 予 備 費	77,000	23,919	53,081	法促進費 25,495
	歳 出 合 計		1,198,000	647,919	550,081	

歳入歳出差引残金なし

全放連型テレビ実現

社会教育の進展を促進

17インチ・六万円、月賦も考慮

今日、公民館活動を行うに當り、テレビジョンを利用したい、ということとは、これらの活動に携わっているものの最も大きい共通の望みである。しかし、これまで公民館のような集団福祉に通じた十七インチ以上の大型の受信機は、一台十万円以上という高価なもので、貧弱な社会教育の予算では全く手が出ない現状であった。

しかし、このほご全放連(放送教育研究会全国連盟)では、関係方面の協力により、こうした学校とか社会教育用のテレビジョンについて特に配慮した性能を有し、しかも十七インチ・六万円の公民館用教育回テレビジョン受信機の選定を決定した。

この選定された製品の銘柄は、一流メーカーの製品十数種にのぼり、六月末日までに申込みのほどことになっており、支払方法も事情によっては特に月賦分割も考慮されている。また公民館の費用目的によつては、二十一インチも数種紹介あつせんすることに決定した。

以上、全放連型公民館用テレビの表現は、わが国のテレビの社会教育利用普及上、画期的な進展をもたらすものと注目されている。なお、総合カタログ及び申込方法の詳細は、教育委員会、NHK放送教育研究会、県公営事務局などに問い合わせられたい。

県教委では、「社会教育の振興をはかるために、地教委の行政組織を確立することが必要である。そのため、先ず専任職員を置くことは勿論、社会教育委員も働き、総合的視野より、その振興策を検討することが必要である」との観点から、次のような変項で、社会教育専任職員、社会教育委員設置促進協議会の開催を計画して、三、参加対象

社教委 専任職員 設置促進協議会

近く開催

- 下越会場 新潟市 六月下旬・一日
- 上越会場 高田中央公民館
- 中越会場 長岡市
- 市町村理事者 教育委員
- 市町村公民館 社会教育委員
- 講演・市町村行政と社会教育 発表・わが市町村の社会教育協議
- 五、講師 大井一星氏(予定)
- 六、発表者 未定

職員の県内留学

刈羽村公民館で実施

刈羽郡刈羽村公民館(徳安民館)では、職員に研修の機会を提供し、その成果が自館の活動ならびに地域の振興に積極的に関与しよう、次のような県内留学を実施することになった。

- 職員・山本健三氏 留学先・栃尾市中央公民館
- 職員・太川寛昭氏 内容・調査、資料作成について 期間・五月七日〜六月六日
- 職員・遠藤鉄太郎氏 留学先・西蒲郡町中央公民館 内容・分館活動について 期間・六月末〜七月末

関東甲信越静協議会

七月十四日・十五日 相川町

関東甲信越静ブロック協議会に、余の本県開催方を望んでいたが、当おいては、かねて本年度各期協議結果、おむね次のように開催されることになった。

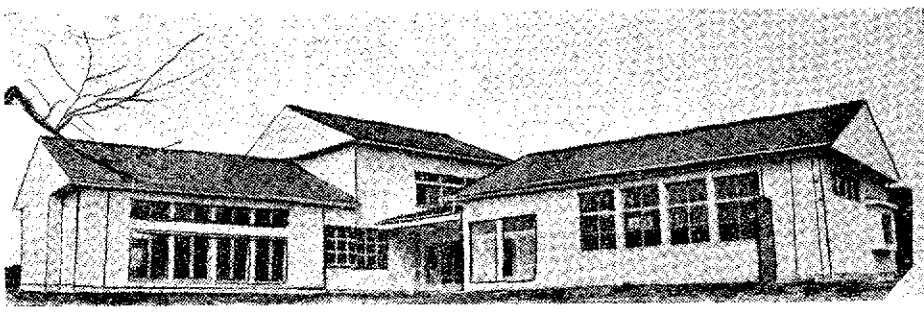


では、しつれいしました

七月十四日(月) 十五日(火)
 一、期日
 二、会場 相川町観光ホテル
 三、日程
 七月十四日、午前八時半新潟港発、両津着、直ちにバスにて相川町へ。午後一時の協議、相川町一泊
 七月十五日、午前九時より視察
 四、出席者
 五、参加者 各県公議役員

見附市中央公民館新築落成!!

6月5日に竣工式・開館は12日から



写真は出来上つた中央公民館全景

謹啓 陽春の候益々御清祥の御事とお慶申し上げますのふれは、このたび公民館新庁舎が落成いたし、業務を開始いたしました。今後は新しい姿に新しい酒を盛る心にて更に一層この道に努めたい覚悟でありますので、何卒旧日の御指導を賜わりますようお願い申し上げます。 敬具

見附市中央公民館

昭和三十三年五月



かの焼きこ山火事

津川町公民館長 石部 市五郎

人間の文化は火を発見した事に
はさまるといわれているように、
われわれの生活には一日も火を用
いない日はないのです。それだけ
に火になれ過ぎて火の恐ろしさを
わすれ、火災を起して悲惨な人生
を経験する場合があります。

県消防課の調査によりますと三十
二年は県下の火災数三四四件、死
者一八人、負傷八六六人で、一日
平均一件の火災と三日に一人の割
合で死傷があったわけですね。

四月から六月上旬にかけては火
災の季節で一年中一番危険する時
です。過去に於ける津川町の大火
はみなこの季節におこって居るま
す。これからの多い火災の原因は不
用意な火種と外出、石油コンロ
エントリ、子供のマッチ、たき火
の不始末等とそれに山火事が多く
なれます。

落ちついて消火につとめる。火
勢は相当強いままでも大木にも
えつらないうちは素外うわっぱ
しりて火力の弱い場合が多いので
あわてない事が第一です。
いよいよよききがかつかずに逃げ
る場合は横へは逃げず合へ逃げる
事をわすれてはなりません。おま
全国の山火事の被害は一ヶ年二千
件で四万町歩になります。一町歩
二〇〇円と見れば八〇億円の損失
です。復讐至上の日本の大切な資
源がこれだけつと年失われて行
くことはたまらない心地がします
みんなで気をつけることにいたし
ましょう。

(津川町公民館報より)

ペタルを踏んで

女塚 増田 美智子

楽しみにしていたサイクリン
グ、何時もはしたこともない神棚
にむかひ無事を祈る。公民館前に
集合すると、それぞれ近気な顔、
顔、いよいよ出発さわやかな五月
の風を体全体に受けながら朝のう
ちにはペタルも舞い、五月晴の大空
を舞ひしめ、ペタルを踏んでい

た、皆に抱かれまいと……、眼を
閉ざさんでいる皆が羨ましい。
人生もやはり自転車に乗るよう
なものではないかと考へる、ちょ
っと気をゆるめれば転倒する。
菜の花がばいばいに咲き乱れ、そ
の背景の幾多の山に煙々たる太陽
が反射し、又道標に咲く名も知ら
ぬ小さな花がともも美しかった。
佐の匂いか、何の匂いか「花の香
か」のしりやかやむせかえる
か「あ」の香かやむせかえる
と誰かの口から出たが、ほんとに
私達農山村に生活するものでなけ
れば、味わぬぬめを覚える。

青野の池につき、早速ホトト
栗の込む。池のほとりの桜の花が
風に散って、肩に落ちるのが目に
つ。
参加してほんとによかったと思
う。過去の私には、こんなにも心
掃除をしたいと思います。

県文化財研究資料

- 県文化財調査報告書第四 民俗資料編
小正月行事(直江津) 田植行事(佐渡) 木地屋
習俗(糸魚川) ドブネ製作工程(糸魚川) 四篇
所収 B5版図版三〇、本文一〇〇頁七〇〇円
- 県文化財年報二、南佐渡学術調査報告 南佐渡
所収 B5版図版三〇、本文一〇〇頁七〇〇円
- 県文化財年報三、中魚沼学術調査報告
歴史(文蔵、城越、民俗(書俗、資料) 考古・地
質六篇所収 6月刊行予定、B5版(限定)約五
〇〇円(予定)
- 文化財研究協議会研究第二集(第一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百)

寄贈ありがとう

4月19日~5月19日 県公連事務局

田市)木成寺地区(木成寺)
寺(五ヶ家)の白蔵(西中通)
公民館(大) (見附市) 広報
なほえつ (直江津市) 広報とち
お (新尾市) 新井たより (新
井市) 市広報(せん) (五泉市)
いといがわ (糸魚川市) 紫雲寺
町公民館 (紫雲寺町) 広報
こすど (小沼町) うちの公
民館 (内野町) いわむろ (若
室村) 公民館 (分水町) 公
民館のあゆみ (吉田町) ながの
しま (山ノ内村) 津川町公民
館報 (津川町) 大河津公民館
だより (大河津) 守門 (守門
村) 新生 (八咫村) ゆき
わ (湯沢町) なかさこ (中里
村) みすまわ (水沢村) 黒
姫公民館報 (黒姫村) 安塚町
公民館報 (安塚町) 広報(ひ
き) 額城村 (中郷) 中郷村
公) 妙高々原 (朝日村) 金井
公民館報 (金井村) 真野公民
館だより (真野町) 公明選挙
ニュース新聞、N日新聞、新
潟県人、下越ライブラリーだ
り、まこのゆき (長岡) 科学学
館、新尾新聞、新潟社会福祉
情報、新生活通信、公民館報 (盛
山) 県公連

詳細は七月に掲載致しますが
従来と交っている点は、事業の羅
列でなく、総合化された点にある
ようです。課では、七大事業とし
て、社教研究会、学芸研究会、実
績発表会、社教研修会、社教委
設置促進協議会、へき地社教研
究会、資料七集作成等々としてお
ります。

わ(湯沢町) なかさこ(中里
村) みすまわ(水沢村) 黒
姫公民館報(黒姫村) 安塚町
公民館報(安塚町) 広報(ひ
き) 額城村(中郷) 中郷村
公) 妙高々原(朝日村) 金井
公民館報(金井村) 真野公民
館だより(真野町) 公明選挙
ニュース新聞、N日新聞、新
潟県人、下越ライブラリーだ
り、まこのゆき(長岡) 科学学
館、新尾新聞、新潟社会福祉
情報、新生活通信、公民館報(盛
山) 県公連